

# 三和区

『第 58 号 2025.11』

## 地域協議会だより

発 行：三和区地域協議会  
編集責任者：三和区地域協議会  
会長 高橋 鉄雄  
編集委員：五十嵐 隆一  
池田 輝幸  
江口 晃  
事務局：三和区総合事務所  
(総務・地域振興グループ)  
TEL 025-532-2323  
FAX 025-532-2623  
sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

### 三和区地域協議会主催による地域づくりをテーマとした講演会を開催しました

地域協議会では、今後の三和区について地域全体で考えるため、地域づくりをテーマとした講演会を今年度 2 回開催しました。委員から講演を聴いての感想をお伝えします。

#### 上越市創造行政研究所による講演会：6月16日開催

#### 「上越市及び三和区の持続可能な地域づくりについて」

「少子高齢化」・・・この言葉には常に不安と悲壮感が伴う。そもそも日本全国で抱える問題であるから、特効薬がないことは周知の事実である。しかしながらすぐに取り組めることがある。誰もが心地よく生きていける未来を見据えながら、今を生きる私たちが「より心地よい地域」をつくっていくという営みである。未来の人口減少は予測できるが、より心地よい地域をつくっていくことは、可能性は無限大である。その営みがあれば、三和区の未来は決して暗いものではなく、明るいものになると私は思う。

副会長 龍池 麻耶



▲上越市創造行政研究所の講演

#### 益子 泉さんを講師に迎えての講演会：11月11日開催

#### 「熱意と行動が地域にきっかけを与える」



◀益子 泉さんの講演

「熱意と行動が地域にきっかけを与える」と題した牧区在住の益子泉さんによる講演会があった。地域おこし協力隊として上越を選び、牧区に家族ごと移住してきた方だ。集落での生活は、やったことないことだらけ。できるかできないかではなく、やってみる、そこから集落の人たちに受け入れて

もらったのだと。何かをしたい、その熱意は誰にでもある。それを実現するには、他者との共有がまず一歩であることを知ることができた。

委員 池田 輝幸

## 自主的審議事項について

現在、地域協議会では、次の2つの自主的審議に取り組んでいます。

### ◇ 審議事項1

#### 三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について

農地や山林の放棄地が増加し、荒廃する土地の保全対策が課題となる中、土地を荒らさずに持続可能な農業を目指す取組について検討するもの。

### ◇ 審議事項2

#### 地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて

少子高齢化の進行に加え、コロナ禍を経た中で、地域内の活動・交流が停滞傾向にあるため、健康づくり、防災、地域活性化など、さまざまな視点から地域コミュニティを維持する仕組みや方策について検討するもの。

「審議事項1」の「三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について」は、令和8年度地域独自の予算事業を活用したい取組「三和まるごと味覚祭」事業の提案につなげました。(※提案した取組は、市の予算査定や市議会での予算案の議決を経て最終的に予算化されるので、提案したことをもって予算化が約束されたものではありません。)

## 「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の諮問・答申

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき公示された過疎地域において、総合的かつ計画的な対策を実施するための事業計画として策定する「上越市過疎地域持続的発展計画」について、11月17日付けで市から諮問がありました。地域協議会で協議した結果、次のとおり答申しました。

### ■答申〈第7回地域協議会：11月17日〉

地域住民の生活に支障はないものと認めます（附帯意見なし）

### 編集後記

妙高連山に雪化粧が見られる季節となりました。今年、三和区地域福祉活動計画のブロック懇談会4か所に参加しました。多くの課題と提案があり、出席いただいた方より参加してよかったですとの声を聞くことができました。年々少子高齢化が進んできていますが、このような状況でこそ、人と人とのコミュニケーションの必要性が求められていると思います。

編集委員 江口 晃